

## 新たな学校生活のかたち

校長 榮 秀之



大熊川沿いの畑には、3年生が2年生の時に植えた玉ねぎが立派に育っています。収穫が楽しみです。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除され、ようやく学校が再開できるようになりました。保護者の皆様には、休校中の家庭学習のサポート等にご協力をいただき、ありがとうございました。

感染予防のこと、学力のこと、体力のこと等、不安を抱えた状態での学校再開となります。まずは、子どもたちが、安心して新しい学校生活をスタートできるように、子どもの心情面を丁寧にみとりながら、ゆっくりと進めていきます

新型コロナウイルス感染防止のために、3密（密集・密接・密閉）を避けた新たな学校生活のかたちを構築する必要があります。子どもたちにも、その意味や大切さを伝えながら取り組むようにします。

2021年6月頭時点の学力については、学習状況の実態を丁寧に把握しながら、昨年度末の未履修の内容や休校中の家庭学習の補充から徐々に進めていきます。授業時数の確保のために、本校では、7月から朝の短時間学習（折本タイム）を週3回に増やします。

宿泊体験学習や遠足については、延期または中止、目的の変更や内容の精選による縮小等、あらゆる状況を想定した実施方法の検討をしています。個別支援学級の宿泊体験学習は、市全体の方針として中止になりました。9月に延期した5年生の西湖宿泊体験学習は、目的地を箱根方面に変更し11月以降の実施へと再延期をすることにしました。

10月に予定されている運動会については、現時点では実施の可否を判断することは難しいため、今後、市の方針を踏まえながら慎重に検討していきます。

学校再開についての当面の措置については、5月25日にメール配信でお知らせした「折本小学校版 学校再開ガイドライン」及び「6月1日以降の段階的な学校再開に向けたお知らせ」をご参照ください。

### 児童支援専任コーナー

今年度から児童支援専任になりました。山崎 友嗣（やまざき ゆうじ）です。

児童支援専任は、折本小の児童全員の担任の先生という役割です。児童一人ひとりが安心して自分らしく楽しい学校生活を送れるよう学級担任や学年はもちろん全職員と連携し協働していきます。具体的には、児童や保護者との教育相談を行ったり、カウンセラーとの教育相談の連絡窓口になったりします。また、特別支援コーディネーターとして、学習支援をはじめ、さまざまな支援が必要な場合に、担任や保護者・関係機関と連携するためのコーディネートも行います。久しぶりの登校で不安や悩みを抱えているお子さんも多いと思います。小さなことでも、気になることや相談したいことがあればいつでもお声かけ下さい。宜しくお願いします。